

### 駐車場・ガイダンス施設の整備

- ・ガイダンス施設(新築工事)  
木造 平屋建て 建築面積:71.82㎡ 延床面積:54.01㎡  
ガイダンス室、倉庫、男子トイレ・女子トイレ・多目的トイレ、  
浄化槽(96人槽)
- ・駐車場(造成工事)  
駐車スペースと車路:1410㎡ 歩道:155㎡  
いずれもアスファルト舗装  
大型バス4台、普通車24台、身障者等駐車スペース2台、  
二輪車7台  
実践区画、車止め、点字ブロック、誘導サイン等



ガイダンス施設



ガイダンス室

# 網野銚子山古墳

国指定史跡

### 整備事業

事業実施 平成24年度～令和7年度

工事実施 平成30年度～令和7年度

総事業費 458,440千円\*

※令和5年度以前は決算額、令和6・7年は見込額

### 〈内 訳〉

- ・土木・建築工事費 274,485千円
- ・工事設計監理費 30,555千円
- ・駐車場・市道整備工事費 52,466千円
- ・用地取得 57,072千円
- ・発掘調査経費 28,729千円
- ・その他事務経費 15,133千円

### 〈財 源〉

- ・国庫補助金  
(国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金)
- ・合併特例債
- ・過疎対策事業債
- ・京丹後市一般財源



京丹後市教育委員会  
文化財保存活用課 ☎0772-69-0640  
空撮写真提供：丹後広域振興局



## 網野銚子山古墳とは

国指定史跡 銚子山古墳（通称：網野銚子山古墳）は、墳丘長201m・後円部径116.5m・同高17.3m・前方部幅83mの日本海側最大の前方後円墳です。築造は4世紀後半（古墳時代前期後半）と推定されています。

墳丘は三段築成で、斜面には葺石を積み、各段のテラスには2,000本におよぶ丹後型円筒埴輪などが据えられていたと考えられています。また、墳丘の南側には周溝を巡らしていました。

陪塚と考えられる小銚子古墳と、少し時期の遅れる寛平法皇陵古墳（いずれも国指定史跡）の2基の古墳を伴い、日本海と市街地を眼下に望み雄大で整備な古墳の姿を今日でも保っています。



明治31（1898）年の網野銚子山古墳【稲葉家写真資料】



※写真の埴輪は  
京都府暫定登録文化財  
丹後型円筒埴輪は、頭部が内側に向かって丸く立ち上がり、中央に円形の穴をあける丹後地方独特の円筒埴輪。弓矢や龍のような図柄を線刻したものもあり。

## 網野銚子山古墳の整備



**①葺石・埴輪列復元**  
葺石復元には、かつて古墳で使われていた葺石を再利用。その上のテラス部分には、復元した丹後形円筒埴輪を並べ、さらに埴輪の足元には礫石を敷き、礫敷を復元した。



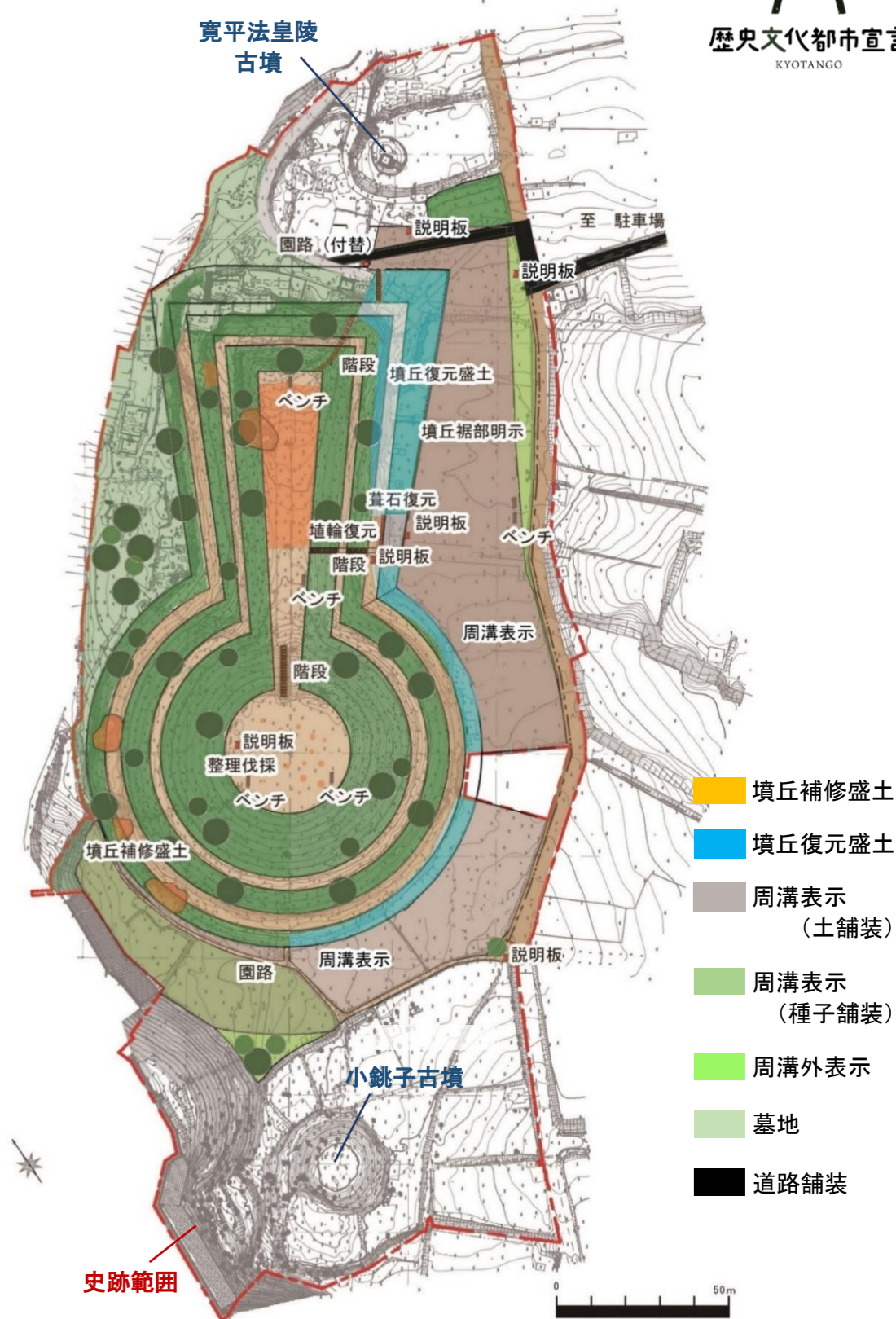
**③階段整備**  
既存の階段2基の補修と階段1基を新設。既存の木製から擬木製階段へ、また、手すりを取り付けた。設置に当たっては、遺構面を保護するため盛土を行い、植生シートを用いその盛土の流出防止を図った。



**②墳丘盛土復元補修**  
失われていた後円部から前方部の一部を盛土により復元。発掘調査の結果で導き出された墳丘の裾にあたる部分から1m盛土を行ったのち、墳丘裾を表示する石を真上に置き、往時の姿を再現した。



**④周溝の平面表示**  
周溝(約8200㎡)は土舗装と一部種子舗装で表示。土舗装の施工は、墳丘からの雨水により周辺の土地に土砂が流れないように、勾配を整備前と同じ2%程度に収め、また、地下に基礎砕石を施し、雨水の浸透を促している。



網野銚子山古墳史跡整備概略図